

2016 年 5 月 28 日

ほしぞらサロン 4 月議事録

文責：山本親弘

日 時：2016 年 4 月 23 日（土）

18:00～22:00

場 所：プラネタリウム事務所

参加者：砂田、角、高木、山田（明）

（50 音順、敬称略）

職 員：小野田、平野、角田、山本

（計 8 名）

1. 5 月 7 日（土）ほしぞらウォッチング「春の星空・木星」

5 月 7 日に、2016 年のスタンプカード対象ほしぞらウォッチングが行われます。その日の詳細な流れについて、話し合いを行っていききました。また、同時に 4 月 9 日に行われた望遠鏡メンテナンスで機材で何か気づいた点なども挙げていききました。

【決定事項】

- 当日の予定
 - 19:30～20:00 プラネタリウムでの解説（ライブ担当は石田さん）
 - 20:00～21:00 観望会（場所：アクアドーム前広場）
- 対象天体
 - 木星（ガリレオ衛星）
 - ミザール・アルコル
 - スピカ
 - アルクトゥールス
- 使用機材
 - タカハシ望遠鏡 2 台（余裕があればビクセンを追加）
 - 対空双眼鏡 2 台
 - ※当日に参加スタッフ人数により変更あり。
- その他
 - リーダー未定。
 - 望遠鏡への並ばせ方は、フォーク式で並ばせる。

【会話録】

角田

5月のほしぞらウォッチングについて、

19:30～ プラネタリウム解説

20:00～ 観望会

という予定になっています。

使用機材はタカハシ2台、双眼鏡2台の、計4台。スタッフ数に余裕があれば、ビクセンの屈折望遠鏡を出す予定です。

対象天体は、木星、ミザール・アルコル、その他春の恒星。

当日のプラネタリウムでの解説は、ほしぞらスタッフ石田さんが担当します。

砂田

5月のウォッチングは多いのか？

角田

去年のウォッチングの来場者数を見ると、

5月 150人、

6月 230人、

7月 125人、

8月 180人、

9月 150人、となっています。

小野田

2回まわし¹は覚悟しておいたほうが良さそう。

角田

(望遠鏡への並び方について) 基本、フォーク式で並ばせる。今回は木星をじっくりタカハシで見せたい。春の恒星たちの色は、双眼鏡で見せる。

プラネタリウムでの解説は石田さんで、リーダーは未定となっている。

今のところスタッフの人数を見てみると、望遠鏡は2台(タカハシ2台)。

もしくは双眼鏡をやめてビクセン1台を追加して、望遠鏡3台でまわそうかとも考えている。

小野田

プラネタリウム解説では、木星の動画(4/9 角田さん撮影)を少し見せる予定。

角田

当日は20:30ごろ、南の63°くらいのところに木星がいる。また、スピカは45°、アルクトゥールスは60°、ミザール・アルコルも60°ぐらい。

高木

¹ プラネタリウムの来場者が80名を超えたとき、1回のみではなく2回目の解説も行う。

コルカロリや、プレセペ星団を見てみてはどうか？

角

暗いので、あまりはっきり見えないかもしれない。

角田

外が寒い時期だと空が締まっているが、今は厳しいかもしれない。

小野田

プラネタリウムでの解説のポイントは、春の大三角を見つける。木星が近くにいるので、間違えてそっちと結ばないように。

角田

目玉は木星。当日のガリレオ衛星の様子を調べてみると、左から木星・エウロパ・イオ・ガニメデの順番となっている。ガニメデの影が木星に映っている時間帯もあるが、もし見えたら説明するくらいにしておいた方が良いでしょう。

角

もしビクセンを出すのであれば、倍率を低くして衛星も見たい。

小野田

タカハシの倍率は何倍くらいが良いか？

角・角田

当日の空や空気の状態を見て決める必要がある

小野田

4月9日の望遠鏡メンテナンスで何か気になる点はあるか？

高木・角

セレストロンの架台のバランスが悪い。長年負担が掛かるような姿勢で使われていたのかもしれない。

角田

そろそろ寿命かもしれない。(平成元年購入)

角

この宗像ユリックスで観望会を行うために、あれだけの口径がいるかどうか。

小野田

正直あまり出番はないかもしれない。

2. 5月21日（土）のほしぞら友の会「プラネタリウムの仕組み」について

5月21日に行われる予定のほしぞら友の会「プラネタリウムの仕組み」について、職員の角田から連絡がありました。

当日は、プラネタリウムで解説を聞いたあと、表にある五藤光学のプラネタリウムを少し分解し、架台やスリッピングなどを見せる予定です。また、月投影機やオーロラ投影機なども見せます。よろしくお願いします。

3. 6月18日（土）のほしぞらウォッチング「太陽の観察」について

6月18日に行われるほしぞらウォッチング「太陽の観察」について、今回のサロンでは、当日行う予定のミニ実験（自作のソーラークッカーを用いたポップコーン作り）について話し合いました。

【決定事項】

➤ 当日の予定

17：00～18：00 太陽の観察（場所：ユリックス正面玄関前）

18：15～18：45 プラネタリウムでの解説

➤ その他

➤ A4サイズの万華鏡用ミラーを何枚か買って試してみる。

➤ 5月7日の15：00からソーラークッカーの制作及び実験を行う。

【会話録】

角田

当日の使用機材はコロナド1台、もし篠原さんのコロナドを使わせてもらえるなら、もう1台、計2台のコロナド。そして、ソーラースコープと太陽投影板をビクセンに取り付けたものを1台、あとは、日光でお湯を沸かせる装置などを考えている。

あとは、ソーラークッカーについて、

ポップコーンを弾けさせることができるかどうか。卵を買って、目玉焼きを作るのが現実的かもしれない。

高木

白身の方が固まりやすいので白身と黄身を分けてするのも良いかもしれない。

角田

（今、ソーラークッカーのパネル表面にはアルミ箔を貼っているが、）万華鏡用の鏡が売っているので、それを使ってみてはどうか。反射率が高い。

4. クリスマス時期の活動について

クリスマス時期の活動について、今年は何をしていくか話し合いを行いました。

【決定事項】

以下のような様々な案が出ましたが、これをするということまでは決まりませんでした。今後も話し合いを継続して行う必要があります。

- 今まで制作したクリスマス番組をリニューアル
- 装置を作る（何か新しい装置か、流れ星投影機のリニューアル）
- 紙芝居（前の作品の紙芝居を作って、声を入れる）
- オリジナル作品ではなく、もともとある作品をプラネタリウムで投影する

【会話録】

角田

今まで 2005 年から 8 作品制作してきたが、ここ 2 年間は番組を作っていない。その間缶バッジを作ってみたりもしたが、今年はどんな活動をするか。

高木

できて紙芝居ぐらいなのではないか。

角田

（もし番組を制作するにしても）シナリオを作ってくれていたスタッフの忙しさにもよる。

山田

もし何か制作していくのであれば、過去の作品を作ったスタッフにも声をかけて協力してもらえるかどうか確かめてみないといけない。

角田

または、何か装置を作るということも考えることができる。

一番現実的なのは紙芝居を作って、ライブ班のスタッフに声を入れてもらって録音をするという方法もある。

角田

またクリスマス時期（12 月）のプラネタリウムでの投影は何をするか。

今まで、1 作目と 2 作目のリバイバルを行ってきたが、3 作目をリバイバルして投影を行うかどうか。

高木

（3 作目を）飛ばすと次は何？

角田

「日食」。その次が「2008 年はやぶさくん」になる。

他には、「2009 年すいせいくん」、「2010 年スペースシップ」、「2011 年いちご王子」という流れになる。

小野田

もっとシンプルで単刀直入なものを新しく作るのが良いかもしれない。
しかし、作れるだけの体力もないし、また、今までの（2016 年には）タイムリーなネタでもないし、絵本もない。

山田

創作のお話をするのではなくて、もともとあるお話をプラネタリウムでやってみてもいいのではないかな。

月、かぐや姫のお話をしてみたい。

角田

装置について、流れ星投影機をそろそろ出来たらリニューアルをしたい。

5. 冬の時期の観望会について

冬の時期の観望会について、行うかどうか、行うなら今年のように一般向けにスタンプカード有りとするのか、無しにするのか、または例年のように特別観望会として行うのか、などについて話し合っていました。

【決定事項】

- 冬の観望会は、今のところ一般向けに解放して行う予定。
しかしその時期は未定。
- 今後も継続して話し合いが必要。

【会話録】

角田

今年の冬の観望会は、まず 3 月にスタンプカードの第一回目として行った。
あとは 2017 年 2 月ぐらいに特別観望会を行うかどうか。どうせ行うなら来たい人に来てもらって、特別ではなく、一般に解放してもいい気はする。

山田

冬の時期に観望会を行うのは賛成。
特別観望会をなくして、一般向けの観望会をしてみてもいいかもしれない。

小野田

（特別観望会は、）心ゆくまで星をゆっくりと見てもらうということから始まったが、あまり天気の良い日にあたらず、その機会があまりなかった。

角

2月、3月あたりにやると、前もってちゃんと準備及びリハーサルができるから良い。(日の入り時刻が早いので)

高木

観望会の開始時刻を早めて、18:00 ぐらいをスタートにできるかもしれない。(夜になればなるほど寒いので)

角田

そうになると、プラネタリウムでの解説を観望会の後に持ってくるか。

小野田

年度初めなので、ライブ班のスタッフの準備が出来にくいためライブ解説なしという方法もある。

角田

候補日なども含めてもう少し資料等用意して話し合いを継続していきたい。

6. 今後の活動予定について

- 5月7日 (土) ほしぞらウォッチング「24時間駅伝」
- 5月21日 (土) ほしぞら友の会「プラネタリウムの仕組み」(9:30~10:45)
- 5月28日 (土) ほしぞらサロン・(エム・ワイ・ピー総会)

次回の「ほしぞらサロン」は、5月28日(土)です。